

# 一般財団法人 全国大学実務教育協会 会報

第6号  
NOVEMBER 2011

これからの大学の生き方  
分野別でナンバーワンを目指す

## CONTENTS

巻頭論文	2
プレゼンテーション実務士資格認定に関する規程及び 同教育課程ガイドラインの一部改正について	3
平成22年度実務教育優秀教員寄稿	4
平成22年度 会長賞受賞者紹介 (No.2)	5
資格取得卒業生の声	6・7
協会からのお知らせ	8

**JAUCB** 一般財団法人 全国大学実務教育協会  
Japan Association of University and College for Business Education

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-2-12  
第三東郷パークビル二階  
TEL:03-5226-7288 FAX:03-3263-8633  
E-mail:jaucb@jaucb.gr.jp  
PC:http://www.jaucb.gr.jp  
携帯:http://www.jaucb.gr.jp/mobi



# これからの大学の生き方

## ～分野別でナンバーワンを目指す～



一般財団法人 全国大学実務教育協会 代表理事・副会長  
福島学院大学 理事長 **菅野 英孝**

### （世界トップの大学）

先日、文化学園大学の大学大沼理事長にお目にかかる機会を得た。40年ぶりの訪問であったが前回訪問時の円形校舎はすでに無く、21階建の壮大な校舎が私を迎えてくれた。

大沼先生曰く、「本学は世界ランキング一位である。」との話を伺った。学内案内をいただいて、この壮大な校舎のいたる所で織物、染色、デザイン、帽子、靴、アクセサリーなど服飾に関する一大教育・研究・製作機関であることを見せつけられた。数万に上る古代から現代にいたる服飾コレクション、膨大な服飾博物館の収蔵品、そして各種のデザインはものすごい数のCADを使用し、織物の教室は差し詰め紡績工場のように広く最先端の機械がそろっていた。ここでデザインと技術の教育を受けた学生は企業でも即戦力として採用されていく。

また、そのファッションの総合力は文化服装学院のファッションショー及び大学のファッションショーで如実に現されている。観る者を幻想、そして華麗な美の世界、創造の世界へと引き込んでいく。

かつて30年以上前にニューヨークのFIT (Fashion Institute of Technology・ファッション工科大学)がこの世界のトップであり、日本の服飾系短大、大学のひとつの理念型となっていたが、家政系大学進学者が減少していった中で、実際それを実現した日本の大学は無いと思っていたところ、眼前にFITを凌ぐ大学があることに驚嘆せざるをえなかった。ファッション系大学でランキング世界第一位との大沼先生のお話に改めて納得した。世界40カ国からの留学生がこの大学を目指して集まっている。

### （総合力での評価は下降線）

翻って、英国のタイムズ高等教育評価会社の2011-2012年度の評価では東京大学は世界30位。京都大学は52位で、香港大学（34位）、シンガポール大学（40位）、北京大学（49位）の下位にある。東京工業大学（108位）、大阪大学（119位）、東北大学（120位）と200位以内の大学は5大学のみ。既に香港及び中国は7大学がランク入りしており、何年も前から日本を凌いでいる。

私学では慶応大学（301位-350位内）、早稲田大学（351位-400位内）でその他多くの私学はランク外である。小泉改革の流れの中で、トップサーティ（COE）のために巨額の補助金をつぎ込んでなお、日本の大学の世界ランキングの順位は下降線上にある。やはり大学として総合評価で世界的に高い評価を得ることは現状では困難である。

### （大学の特色ある教育・研究分野でトップを目指す）

これからは、その大学の強みとする分野で世界のランキングを目指すことも戦略の一つであろう。少なくとも日本でのナンバー10、あるいはオンリーワンを目指すことは、中長期戦略として可能性がある。

本協会は実務教育にかかる資格認定を行っているが、これが学士プログラムとして到達目標と実力の証として日本で、そして世界で通用するよう、さらなる改善と改革を行っていかねばならないという思いを強くしている。

また本協会の実務教育振興38年の経験が、実務教育分野の評価で会員校を鼓舞することができるのも思っている。

# プレゼンテーション実務士資格認定に関する規程及び同教育課程ガイドラインの一部改正について



一般財団法人 全国大学実務教育協会 資格教育課程審査常任委員会 常任委員長

自由が丘産能短期大学 教授 江崎 和夫

この度、プレゼンテーション実務士資格認定に関する規程及び同教育課程ガイドラインが一部改正になりましたので、ご説明させていただきたいと思っております。

本協会は平成13年度からプレゼンテーション実務士資格認定制度を創設しましたが、平成23年度現在で、大学で16校、短大で37校の計53校のプレゼンテーション実務士資格の教育課程が認定され、この10年間の資格取得者は6,149名に達しております。

本協会では平成21年度に「資格等に関するアンケート」調査を実施し、各資格について会員校の皆様から直接アンケートによりご意見やご希望をお聞きし、資格に関する改善の要否について検討を進めてきました。その結果、会員校の皆様の意見を反映し、プレゼンテーション実務士資格認定に関する規程及び同教育課程ガイドラインを一部改正することに致しました。資格教育課程審査常任委員会などにおいて検討を行って改善案を作成し、プレゼンテーション実務士の教育課程を認定している会員校の皆様へ、改善案に対するご意見を伺うためプレゼンテーション実務士資格認定に関する規程等の一部改正（案）についてのアンケート調査を平成23年7月15日（金）メッセで実施しました。

プレゼンテーション実務士資格認定に関する規程等の一部改正（案）についてのアンケート調査の結果得られた賛成の割合は、改正案全体については83%、必修科目：81%、選択必修科目：62%、選択科目：100%、専任教員：90%、セミナー受講を削除すること：71%でした。この結果を踏まえて、各設問での会員校の皆様からの意見を検討し、必要と判断した意見を反映した内容の規程及び教育課程ガイドラインにするため修正を加えました。その結果、①選択必修科目に「プロジェクト演習」を、②教育課程ガイドラインの「社会調査」読替科目として「社会調査法演習」の削除、「マーケットリサーチ」の追加変更を行いました。

このアンケートにより寄せられたご意見ご要望をさらに反映して、改善案を修正し、「プレゼンテーション実務士資格認定に関する規程」及び「同教育課程

ガイドライン」の一部改正を平成23年10月1日付で実施することといたしました。

従前の規程との主な相違は次のとおりです。

1. 従前の規程では「必修科目5科目すべて70点以上の評価点」を得なければ資格の取得ができなかったが、「必修科目及び選択必修科目のうち必修科目1科目以上を含む3科目以上は70点以上の評価点」としたこと。
2. 従前の規程「必修科目5科目」を「必修科目2科目」と「選択必修科目3科目」に変更したこと。
3. 選択必修科目（3科目6単位）を設け、科目名を変更及び新設したこと。  
（例 ・ 「日本語表現法」を「文章表現」に変更、「社会調査」、「大学の学びのための基礎演習」、「プロジェクト演習」など新設）
4. 従前の規程の「必修科目を担当する教員のうち1名以上は専任教員」は「必修科目もしくは選択必修科目を担当する教員のうち1名以上は専任教員」としたこと。
5. 従前の規程では、必修科目5科目のなかの演習科目の担当教員は「プレゼンテーション教育指導法セミナー」の受講が義務づけられていたが、当初の目的を達したためこれを削除したこと。

これらの変更は、平成23年10月1日に施行されました。そして、同日現在に在学する者すべてに適用され、平成23年度3月期の資格認定証授与申請手続においても対象となることになっています。

教育課程の変更に関しましては、今回の従来の規程の一部改正によって既に会員校が認定を受けているプレゼンテーション実務士の教育課程の変更の必要はないようにしています。ただし、今後につきましては、申請事項に変更があった場合に、新しい規程及びガイドラインにそって申請手続きをお願いします。ご不明な点がございましたら、JAUCBの事務局までお問い合わせください。

資格教育に関しては、資格教育課程全体の質の保証のために、教育課程全体の到達目標を明確化する必要があり、本協会では、現在その検討を行っています。資格教育の充実、会員校の皆様の教育の質保証に向けた取り組み、授業プログラムの改善があってこそ、達成することができると思います。

今後ともプレゼンテーション実務士資格に関する資格教育にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

# 平成22年度 実務教育優秀教員被表彰者寄稿



札幌国際大学 観光学部  
講師

和田 早代

この度は、全国大学実務教育協会より、実務教育優秀教員として表彰をいただき、身に余る光栄に存じます。教員に就任してから3年目を迎え、まだまだ若輩者で毎日が勉強ではありますが、今回の受賞によってさらに身が引き締まり、もっと頑張らなくてはと励みにもなります。これもひとえに札幌国際大学の理事長、学長をはじめ、関係の方々のおかげさまで。心から感謝申し上げます。

私の授業改善については、学生の意見やFD等を参考に、反省の日々

## 観光人材の育成を目指して

でございます。授業の参加意欲を高めるために、スタンプリ形式や、演習授業、そして小テストは完璧にできるまでチャレンジさせるなど、達成感が得られるように工夫しています。

ここで、担当科目である観光学部の目玉科目を1つ紹介させていただきます。

「観光人材養成実習」は、札幌国際大学観光学部と鶴雅グループ（北海道に8つの宿泊施設を持つ）との産学連携事業で、北海道庁にも後援いただくなど、北海道観光の発展に寄与できる人材を育成することを目的としたインターンシップです。

この講座の特徴は、従来の職場体験だけのインターンシップとは異なり、職場実習の他に、多くの実務者（社員）による講義と実習指導を通して、専門的な知識や体験に触れて実務能力を高めています。また、3週間社員寮に泊まって共同生活を体験することも特徴の1つで、社会人として必要なチームワークやコミュ

ニケーションなどを学ぶことから、大学教育の中では4年間の総合的な実務の授業として位置付けています。学生による自己評価では、目に見えて人間的成長が実感でき、社会人としてのマナーやおもてなしへの意識向上につながっていると高く評価しています。

参加資格は1年から4年までで、他学部の学生も参加可能です。20名程度が参加しますが、年代や学部を超えた学生たちは、3週間共に学んだかけがえのない友人となり、その後の大学生活も充実しているようです。

私たちは、授業以外にも入試や就職など大切な役割がありますが、やはり授業の学生満足度を上げることが基本だと考えます。

これからも、企業が求める学生像に近づけるよう、学生の将来設計や職業適性を見つめながら、北海道観光の未来を支える人材育成を目指し、努力したいと思います。



京都光華女子大学短期大学部 ライフデザイン学科  
講師

石丸 淑子

この度は、貴協会からの表彰を賜り誠に有難うございました。この賞は私が勤務しております京都光華女子大学の全ての教職員や学生達の協力や支援あつての賜物ですから更に気を引締め、心新たに今後の実務教育活動に励むつもりです。私は、約20年間旅行会社で企画・予約・販売業務を初め添乗業務までほとんどの職種を経験しました。その実体験をもとに、現在は短期大学部ライフデザイン学科のトラベル分野の担当として観光関連科目全般を受け持つ

## 実務教育優秀教員として表彰されて

ています。数年来、就職出口が他業種に比較して狭いことからトラベルを選択する学生は減少しているのですが、ライフデザイン学科ではファッションライダル・デザイン・エコロジー・エンターテイメント等たくさんのコース、ユニット、科目があるので主選択としたコースの副選択として観光科目を受講する学生が多いのが現状です。やはり観光や旅行というのはどんな職業にでも知識として必要ですし、ライフデザインというのは自身の将来生活を豊かに設計するという意味合いがあるので、その為にも必要知識として観光関連科目を学ぶように勧めています。無論、学問ではありますが観光なのでできるだけ楽しく実践的に学べるように工夫しています。「観光事業論」では、学内で観光資源を探し出すフィールドワークやUSJ現地での実体験、「女将論」では、学内にいる茶室や和室を使用して、襖の開け閉め、座布団の座り方等の立ち居振る舞い、料理や酒の出し方などは食器を実際に使用して和のおもてなし、

行儀作法を実際に身に付けてもらいます。また、観光関連科目でも大変重要な科目だと考える「ホスピタリティ論」では、あらゆる場面を想定して接客手話も取り入れています。他にも新入生を迎えての1泊研修では、ホテルを貸し切ってリアリティある実務体験学習を行っています。学生を各担当教員とともにいくつかのグループに分け、ホテル内の教会式場でホテル男性スタッフを新郎役にしての模擬挙式、ホテルシェフの指導で朝食用のパン作り、プロカメラマン指導のデジカメ撮影、地元自然ガイドとの森林探索、ホテルスタッフ指導のフロント業務・ベッドメイキング等、全館貸し切りなのでホテル側スタッフの全面協力のもと、新入生にとっては、より実践的な体験が将来の職業意識を高める良いきっかけになっています。今後も当学科の特徴を生かし、全ての学生が、豊かな人生を送ることができるようになるための手助けをしたいと考えています。

# 平成22年度 会長賞受賞者紹介 (No.2)

No.	資格名	大学名	学部・学科名	氏名	No.	資格名	大学名	学部・学科名	氏名
1	上級 ビ ジ ネ ス 実 務 士	大阪国際大学	人間科学部	今井 春香	47	上級 秘 書 士	近畿大学	経営学部	十川奈緒美
2		安田女子大学	現代ビジネス学部	森田 智美	48		神戸松蔭女子学院大学	文学部	黒岩 梨沙
3		沖縄キリスト教学院大学	人文学部	山入端志野	49		常磐短期大学	キャリア教養学科	河野なる美
4		沖縄国際大学	産業情報学部	黒島 誉乃	50		金城大学短期大学部	ビジネス実務学科	畠 彩央理
5		常磐短期大学	キャリア教養学科	小川 夕貴	51		岡崎女子短期大学	経営実務科	平岩 ゆか
6		富山短期大学	経営情報学科	宮本 恭子	52		滋賀短期大学	ビジネスコミュニケーション学科	松岡 裕美
7		金城大学短期大学部	ビジネス実務学科	足田奈津希	53		近畿大学短期大学部	商経科	有嶋 由依
8		中国短期大学	情報ビジネス学科	堀 百花	54		プール学院大学短期大学部	秘書科	辻野 春花
9		久米信愛女学院短期大学	ビジネスキャリア学科	田中 美里	55		和歌山信愛女子短期大学	生活文化学科	田宮美沙紀
10	ビ ジ ネ ス 実 務 士	大阪国際大学	人間科学部	池田 和樹	56	秘 書 士	安田女子短期大学	秘書科	井戸口真子
11		四天王寺大学	人文社会学部	三好 陽子	57		高松短期大学	秘書科	白坂 衣里
12		広島女学院大学	生活科学部	藤谷 朋美	58		松山東雲短期大学	秘書科	山岡 菜央
13		聖和学園短期大学	キャリア開発総合学科	貝 柚季奈	59		鹿児島純心女子短期大学	生活学科	押川 安里
14		聖霊女子短期大学	生活文化科	船木奈津美	60		札幌国際大学	人文学部	小浦方苑子
15		東北文教大学短期大学部	総合文化学科	松木 聡子	61		札幌国際大学短期大学部	総合生活学科	北川 智菜
16		桜の聖母短期大学	生活科学科	前野真理亜	62		自由が丘産能短期大学	能率科	田平 優佳
17		桜の聖母短期大学	英語学科	石川 美沙	63		目白大学短期大学部	生活科学科	結城 綾子
18		福島学院大学短期大学部	情報ビジネス科	高根 亜衣	64		鎌倉女子大学短期大学部	初等教育学科	吉川いづみ
19		國學院大學栃木短期大学	商学科	青木 美沙	65		名古屋女子大学短期大学部	生活学科	秋葉 有紀
20		佐野短期大学	総合キャリア教育学科	高原沙弥佳	66		大阪国際大学短期大学部	ライフデザイン総合学科	小川 栞里
21		自由が丘産能短期大学	能率科	長田 美佐	67		大阪成蹊短期大学	観光学科	荻野 千映
22		湘北短期大学	総合ビジネス学科	石原 恵美	68		関西外国語大学短期大学部	英米語学科	齋藤 友香
23		新潟青陵大学短期大学部	人間総合学科	村山 ゆい	69		関西女子短期大学	保健科	吉住江里香
24		富山短期大学	経営情報学科	鈴木 宏昌	70		神戸女子短期大学	総合生活学科	柿本 祐佳
25		仁愛女子短期大学	生活科学学科	岡田真里奈	71		就実短期大学	生活科学科	畑本 理沙
26	愛知学泉短期大学	生活デザイン総合学科	中川 絢乃	72	就実短期大学	文化コミュニケーション学科	岡 朋香		
27	岡崎女子短期大学	経営実務科	山田 和枝	73	比治山大学短期大学部	総合生活デザイン学科	溝上 礼子		
28	豊橋創造大学短期大学部	キャリアプランニング科	阿部可奈子	74	精華女子短期大学	生活科学科	安藤 舞香		
29	高田短期大学	オフィス情報学科	坂下 奈央	75	長崎女子短期大学	生活科学科	中村 有希		
30	京都光華女子大学短期大学部	ライフデザイン学科	近藤 紫乃	76	大分県立芸術文化短期大学	情報コミュニケーション学科	谷口 未樹		
31	大阪キリスト教短期大学	国際教養学科	射手園 恵	77	南九州短期大学	国際教養学科	高山 詩織		
32	大阪成蹊短期大学	経営会計学科	田嶋 静香	78	沖縄女子短期大学	総合ビジネス学科	小嶺 恵理		
33	四條畷学園短期大学	ライフデザイン総合学科	谷口和香奈	79	（国際秘書士） 神戸松蔭女子学院大学	文学部	清水 麻衣		
34	プール学院大学短期大学部	秘書科	小川友梨子	80	（国際秘書士） 鹿児島純心女子短期大学	英語科	西田 朱里		
35	大手前短期大学	ライフデザイン総合学科	山本 由希	81	（秘書士） 愛知学泉短期大学	生活デザイン総合学科	小野田有華		
36	鳥取短期大学	生活学科	新田 陽子	82	（スディカル秘書士） 修文大学短期大学部	生活文化学科	酒井 温子		
37	鳥取短期大学	国際文化交流学科	山本 有希	83	（スディカル秘書士） 名古屋学芸大学短期大学部	現代総合学科	赤塚 由夏		
38	中国短期大学	英語コミュニケーション学科	寺尾 早織	84	（スディカル秘書士） 松山東雲短期大学	秘書科	片川 真由		
39	山陽女子短期大学	人間生活学科	中原 美里	85	（スディカル秘書士） 鹿児島純心女子短期大学	生活学科	濱田あゆみ		
40	四国大学短期大学部	ビジネス・コミュニケーション科	山下 佳織	86	（保健士） 園田学園女子大学	人間健康学部	池下 優美		
41	香蘭女子短期大学	ライフプランニング総合学科	松尾 桃	87	（保健士） 吉備国際大学	社会福祉学部	藤井 祐也		
42	精華女子短期大学	生活科学科	田原可南子	88	（園芸療法士） 大阪河崎リハビリテーション大学	リハビリテーション学部	金元 隆		
43	筑紫学園大学短期大学部	現代教養学科	田中めぐみ	89	（園芸療法士） 甲子園短期大学	生活環境学科	松本 安代		
44	東筑紫短期大学	美容ファッションビジネス学科	亀田 和余	90	（実務士） 新潟青陵大学	看護福祉心理学部	山本 由子		
45	鹿児島女子短期大学	教養学科	磯脇 桃子	91	（実務士） 広島女学院大学	文学部	新庄芳菜恵		
46	沖縄女子短期大学	総合ビジネス学科	親盛明佳里						

大学名、学部・学科名は平成23年3月31日現在である。

# 資格取得卒業生の声

## 秘書士



関西外国語大学短期大学部 英米語学科  
平成21年度卒業

京谷 菜々美さん

京谷様は平成22年4月に大阪に本社を置く一部上場企業の石原産業株式会社に入社されました。現在は開発マーケティング部でお仕事をされています。このたびは秘書概論と秘書実務をご担当された関西外国語大学短期大学部教授の徳田豊先生にもご同席いただきました。

また、取材にあたり石原産業株式会社様のお取り計らいにより、本社会議室にて、勤務時間内に取材させていただきました。特段のご配慮に感謝申し上げます。

**Q：大学で「秘書士」の取得を希望したのは、どのような動機からですか。**

**A：**入学時は「秘書士」の資格のことは知りませんでした。コースを考えている時に「ビジネス・キャリアコース」に秘書概論や秘書実務の科目があり、「秘書士」資格が取得できることが分かりました。仕事をするための基礎知識を学んでおくことで卒業後すぐに役立つと考え、「ビジネス・キャリアコース」を選択し「秘書士」の科目を受講しました。

**Q：現在、大学で「秘書士」の資格を取得しておいて良かったと思いますか。**

**A：**仕事をするというイメージを築くことができ良かったと思います。働くとはどういうことなのか。働く意味を考える機会を得たことで社会人となる心の準備ができました。

**Q：現在の職場で「秘書士」の資格はどのように役立っていますか。**

**A：**秘書概論や秘書実務の授業で仕事の臨場感を体験できました。特に上司の指示を受ける際のメモの取り方や電話の対応などは、どのような職業に就いても必要なことですし、すぐ役立つことだと思います。加えて、本当に基本的ですが、絶対に疎かにしてはいけないのが「報連相」でした。簡単に当たり前のように思われがちで、実際私自身大した事と思っていませんでしたが、生きた仕事を正確・迅速にこなしていくためには、この「報連相」がいかに大切であるか今まさに身をもって感じています。ちょっと失敗もありましたので・・・今は気持ちを引き締めて「報連相」ができるようにと思っています。

**Q：大学で「秘書士」の科目の中で特に役立っている科目はありますか。**

**A：**まず、英語で考えることを厳しく要求される「リスニング&スピーキング」の科目が役立っています。私の大切な役割に「部の代表電話を受ける」があります。国内だけではなく海外からの電話にも対応しなければなりません。お客様の求めていることをごく自然に英語の状態を理解し、英語で考え、英語で応えるためには欠くことの出来ない科目だと思います。

**Q：大学の「秘書士」の科目でなお不足している分野はありますか。すでに学んだ「秘書士」の教育課程に希望はありますか。**

**A：**私の受講している講座では体験できませんでしたが、実際に学んだ知識を使って、企業で働かせていただくインターンシップの科目が講座にあれば、実務に触れることもでき、なお良かったと思います。現在の仕事では、グラフなど表計算のスキルや文書作成のスキル（エクセル・ワード等）が必須です。パソコン実務を履修しておけば良かったと思っています。

**Q：後輩に何か助言することはありますか。**

**A：**一言で言うと「何にでもチャレンジしてください！」でしょうか。将来、何が自分に関連し、役に立つかは分からないので、幅を決めないで何事にも積極的になることは大切だと思います。もちろん、秘書士の授業を選択されるのも、就職前に「仕事のイメージ」を持てるので、本当におすすめです。

**Q：自分が将来目標とするものがありましたら教えてください。**

**A：**現在は目の前の仕事を的確に余裕をもって処理できるようになることが目標です。また、自社の取扱商品をより深く理解することで、仕事の見え方も違ってくると思いますので、さらに勉強が必要だと思っています。今は何でもやってみたい気持ちでいっぱいです。将来は英語力を磨いて違う職務も経験してみたいと考えています。今は毎日、就業前30分間の英語の勉強会に参加しています。他の部署の方ともお話しできるのが何よりうれしいです。

**秘書概論・実務授業を指導された徳田豊先生のコメント**

ビジネス実務の即戦力となる人材を養成する同授業で「何でも積極的にやってみよう」というのが、京谷菜々美さんでした。その後、ビジネスコミュニケーション英語も会得されて首席で関西外国語大学短期大学部を卒業し、見事8割の輸出比率を持つメーカーに就職された。

現在も2年前に教えた「報連相」を忘れずに実行し、先輩から積極的な資質と業務内容向上を学んでいこうとチャレンジされている京谷菜々美さん！ガンバレ！

このたび初めてお会いし、前向きで、積極的に物事に取り組む姿勢に加え、常に見据えて今は何が必要で何をすべきかを考えることができる方だと感じました。女性活用の制度が充実した職場環境とお聞きしましたので、これからの活躍が楽しみです。笑顔が素敵でした。

(有働壽恵記)

## 資格取得卒業生の声

大阪府大東市所在の紙の加工、印刷などの事業を展開されている「株式会社田川紙工」に勤務されている但馬みなみ様を訪ねました。但馬様は四條畷学園短期大学ライフデザイン総合学科を平成21年度に卒業され、田川紙工で事務職に就かれています。

活気のある工場の2階の事務所で、お忙しい中、取材に応じて頂きました。ボランティア活動等でも大変お忙しくご活躍されている社長の田川様にもコメントを頂きました。感謝申し上げます。

### ビジネス実務士



四條畷学園短期大学 ライフデザイン総合学科  
平成21年度卒業

但馬 みなみさん

**Q：大学で「ビジネス実務士」の取得を希望したのは、どのような動機からですか。**

**A：**事務職を希望していましたので、就職に向けて資格を取得しておこうと思ったからです。高校2年の時あたりから事務職に就きたいと思っていました。

**Q：現在、大学で「ビジネス実務士」の資格を取得しておいて良かったと思いますか。**

**A：**修得した科目の授業内容がそれぞれ事務関係の仕事に関連するものばかりだったので、実務に就く前の良い予習勉強になりました。特に実習系の授業「ビジネス実務演習」などは記憶にも残りましたし、現在の仕事に役立っていると思います。

**Q：現在の職場で「ビジネス実務士」の資格はどのように役立っていますか。**

**A：**現在の仕事内容は事務の仕事なので、大学で学んだ知識は基礎として大変役に立っています。また、情報関係の科目や実習形式で学んだ授業は大いに役立っていると思います。

**Q：大学で「ビジネス実務士」の科目の中で特に役立っている科目はありますか。**

**A：**「ビジネス実務演習」の授業です。電話対応や接客対応など特に実習形式で学んだものは、現在の事務の仕事の基礎になっています。

**Q：大学の「ビジネス実務士」の科目でなお不足している分野はありますか。**

**A：**科目としては、特に気付くものはありませんが、実習形式の授業をより多く学べるようにするのが良いと思います。実際に仕事をしてみての感想ですが、知識だけでは動きが取れないことが多いことに気付きました。電話対応、敬語の使い方など、今以上に実習形式を増やしての学びができればよいと思います。例えば、電話対応ではまず相手の会社名が聞き取れなくて苦労しましたし、聞きながら、メモをとることは思った以上に実際は簡単ではありませんでした。

聞いているとメモがうまく取れない、また、聞いたことを正確に簡潔に名指し人に伝えることは、慣れるまではうまくいきませんでした。大学での実習には、電話対応をしながら、メモをとって、内容を相手に伝えるという、実際の仕事の場面に近い状態の応用練習も加えると良いのではないのでしょうか。加えて、実習は一人1回程度しか実際にはできませんでした。もっと回数多く経験できればもう少し身についたと思います。事務関係の仕事希望する学生には心強いものになると思います。

**Q：後輩に何か助言することはありますか。**

**A：**自分が履修を予定しているより、もう少しだけ多くの科目を履修し、学んでほしいと思います。大学でしか学べないことが多くあります。少しでも興味がある授業は貪欲に勉強しておくと思わないと、その資格取得だけを目的とせず、それに向かって勉学に励むことが重要ですし、取得した資格を活かしていけるようにされると良いと思います。

**Q：自分が将来目標とするものがありましたら教えてください。**

**A：**今後はもっと資格を活かせる内容の仕事が増えていくと思いますので、より一層のスキルアップを目指していきたいです。また、指示される前にやっておくとよい仕事を見つけること、そして改善や新たな仕事を見つけることを目指したいです。

但馬様の上司である田川紙工の田川社長は、「明るく、積極的で本当によくやってくれています。これほど、てきぱきと仕事をこなし、職場に良い雰囲気を作れる社員は少ないですね。ますます戦力になってくれると期待しています。」と高く評価されています。但馬様は1年半のキャリアですが、その後、母校の四條畷短大から後輩も今年入社されたとのこと。このことから高い評価を裏付けています。「ビジネス実務士」を取得した卒業生が活躍する姿を拝見し、嬉しく心強く感じました。

(油谷純子記)

## ◆「実務・キャリア教育検討特別委員会」を設置◆

文部科学省では、平成23年4月1日から大学設置基準及び短期大学設置基準を改正して、大学（短期大学を含む。以下同じ）に対して「社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えること」が義務づけられました。

このことは38年前から本協会が一貫して取り組んできた高等教育における実務教育の充実と普及を図る方向と一致するものであり、実務教育が高等教育の中に公的に位置づけられたことになりました。

本協会は、このような高等教育の変化に対応し本年7月からあらたに「実務・キャリア教育検討特別委員会」（委員長 自由が丘産能短期大学学長 森脇道子氏）を設置し、現在本協会が展開している資格教育・キャリア教育の見直しと再構築を行い、これからの高等教育における実務教育・キャリア教育の位置づけと役割を明らかにし、その具体的プログラムについて検討をすすめています。

## ◆平成24年度新規入会及び新規教育課程認定等の申請期限◆

平成24年度の新規入会及び新規教育課程認定等の提出期限は、平成24年1月25日（水）です。

すでに承認を受けている教育課程の変更（科目の追加・削除、科目名の変更、協会承認の◎印の専任教員の変更等）についても上記提出期限までに申請し、変更の実施前に承認を得る必要があります。

## ◆企業向けメディアに対する広告掲載◆

本協会が認定している資格について企業等の認知度を高めるため、平成23年度において下記のとおり企業向けの広告の掲載をいたしました。

掲載紙	掲載号	掲載資格
日経ビジネス	平成23年10月3日号（9月30日発売）	上級情報処理士ほか12種
日経エコロジー	平成23年11月号（10月6日発売）	上級環境マネジメント実務士・ 環境マネジメント実務士
	平成23年12月号（11月5日発売）	
福祉新聞	平成23年9月5日号（同日発売）	園芸療法士
	平成23年10月3日号（同日発売） 平成23年11月7日号（同日発売）	

## ◆「『こども音楽療育士』資格認定制度の創設にあたって」座談会記事を全私学新聞に掲載◆

本協会では、平成23年度から「こども音楽療育士」資格認定制度を創設しました。

この制度は、音楽療育、障害児・心理、保健及び音楽に関する科目を短期大学及び大学において体系的に学んだ学生等に授与する資格です。

そこで、本協会ではこの資格の教育課程に関係する専門の先生方に集まっていただき、この制度の創設の趣旨、教育課程、人材育成目標や発達障がい児への対応、この資格への期待などを話し合う座談会を実施し、これを平成23年10月13日付の全私学新聞に掲載いたしました。

なお、座談会記事の下欄には本協会が授与する認定資格及び会員校一覧を掲載しました。

## ◆平成23年度「資格教育課程等の自己点検チェックリスト」による調査を実施◆

本協会では、会員校の資格教育課程等の自己点検活動を一層強化し、資格に係わる教育の質的保証と向上をはかっていくことを目的として「資格教育課程等の自己点検チェックリスト」による調査を前年度に引き続き本年度も実施しました。

本調査は、規程にもとづく実地調査に代わり実施するものですので、すべての会員校からの提出が望まれています。

## ◆平成23年度実務教育優秀教員の推薦◆

本協会では、本協会が定める資格認定関連科目を担当する教員で、学生による授業評価が最高水準であり、また研究や社会的活動

において実務教育の充実向上に貢献する業績を挙げている会員校の教員を当該会員校の学長の推薦にもとづき実務教育優秀教員として表彰しています。

平成23年度の実務教育優秀教員の推薦受付は平成24年2月15日から3月15日までです。

## ◆「汎用能力育成の指導法：研修プログラム開発と教材開発を中心に」を発刊◆

本協会では、2010年度に日本ビジネス実務学会に対し「汎用能力育成の指導法：研修プログラム開発と教材開発を中心に」の研究委託を行いました。

この研究委託は、2009年度の日本ビジネス実務学会に対する「ビジネス実務分野における汎用能力とその教育方法」の研究委託に引き続くものです。

このほど日本ビジネス実務学会から2010年度の研究委託報告書が提出されましたので、これを発刊し会員校に配付いたしました。

## ◆「ビジネス実務総論」の改訂版を発行予定◆

本協会が資格認定している「ビジネス実務士」「上級ビジネス実務士」の必修科目「ビジネス実務総論」のテキストとして刊行した「ビジネス実務総論」は、初版が1999年4月の発行であり、記載内容に古くなっている箇所もあったので、このほど執筆代表者に改訂版の執筆を依頼しました。

改訂版は、平成24年度の教科書採択に間に合うよう平成24年3月までには発行することを予定しています。

なお、発行は株式会社紀伊國屋書店です。

## ◆「こども音楽療育を担当する教員研修会」を開催◆

本協会では、「こども音楽療育士」資格認定制度の創設に伴い、こども音楽療育を担当する教員を対象に平成23年9月5日、6日の両日、アルカディア市ヶ谷において「こども音楽療育を担当する教員研修会」を開催しました。

今回の研修会には全国から23大学31名の参加者があり、「こども音楽療育」概論、演習、実習に関する知識と技能を講話と体験型ワークショップによって学び、実践的スキルを身につけ、教員としての指導力を高めることを目標としました。

特に今回の研修会は、こども音楽療育士の人材育成の具体的な目標を明らかにし、またワークショップを中心とした実践型の研修で大きな成果をあげることができました。

なお、本年度中には本研修会の報告書を発行して会員校に配付することを予定しています。



## ◆平成23年度3月期資格認定の授与スケジュール◆

平成23年度3月期の資格認定の授与スケジュールは下記のとおりですので、期日厳守をお願いします。（すでに実施済を含む。）

なお、生年月日は原則として西暦で記入することになりました。

（平成23年）

- |                                    |        |        |   |
|------------------------------------|--------|--------|---|
| 1                                  | 10月25日 | 協会→各大学 | 資格認定に関する調査表提出依頼発送                         |
| 2                                  | 11月7日  | 各大学→協会 | 資格認定に関する調査表提出メチ                           |
| 3                                  | 調査表受理後 | 協会→各大学 | 資格認定に関する申請手続発送                            |
| 4                                  | 12月5日  | 各大学→協会 | 資格認定証授与予定者名簿等提出、申請料納付メチ                   |
| 5                                  | 確認後随時  | 協会→各大学 | 申請書類等の受理発送                                |
| （平成24年）                            |        |        |   |
| 6                                  | 1月12日  | 協会→各大学 | 授与予定者リスト校正依頼等発送                           |
| 7                                  | 1月25日  | 各大学→協会 | 授与予定者リスト校正結果（訂正連絡票）、<br>単位認定教授会・卒業式日程提出メチ |
| 8                                  | 確定後随時  | 各大学→協会 | 資格認定単位修得確定報告書                             |
| ※卒業式までに土日を除き5日以内の場合は即日FAX送信してください。 |        |        |   |
| 9                                  | 随時     | 協会→各大学 | 資格認定証発送                                   |
| 10                                 | 随時     | 各大学→協会 | 資格認定証受領書提出                                |